

渡利 修さん ④-1



カワセミの 刹那の枝に ついみとれ

かまえしデジカメ チャンスを逃す

初夏の溪流

ダイブの瞬間をじっと待った

フツと一呼吸、緊張を解いたそのとき、
カワセミは頭を下げた。

と次の瞬間、水面めがけて真一文字。
シャッターには指をかけたまま、
ぴくりとも うごかなかった。

再びチャンスを待ったが、カワセミは
捕えた餌を飲み込むや、
何処へともなく飛び去った。

渡利 修さん ④-2



霞浦 かつては白き帆 帆引き舟

今や観光 七色の帆に

初夏の霞ヶ浦

「青・赤・黄・紫・緑・ピンクに白」

七色の帆が薫風をはみ音もなく

湖面を滑る「観光帆引き船」

かつては「ワカサギ・シラウオ」漁で

活躍した帆引き船」。

その後漁法は、効率のよい

「トロール漁法に」変わりその姿を消した。

この文化遺産は昭和四十六年に、「観光帆引き船」として復活した。